

## 「学校や家庭での生活についてのアンケート」(前期) の結果等について (お知らせ)

本校教育活動(学校経営の重点項目)に対する保護者アンケート及び生徒アンケートの結果を受けて、本校学校運営についての自己評価を行いましたのでお知らせいたします。さまざまなご意見などを教育活動に活かすとともに、本校教育活動の更なる充実を図ってまいります。ご協力ありがとうございました。

### 【 学 ぶ 】「夢の広がる学校」… 探究力

A:とてもあてはまる B:あてはまる C:あてはまらない D:まったくあてはまらない

数字上段:保護者(%) 下段:生徒(%)

NO	質問内容(生徒にも保護者と同じ内容の問いかけをしています。)	A	B	C	D
1	お子さんは、授業が楽しく、わかる、できると言っている。	12 33	63 57	19 9	6 1
2	お子さんは、目標やめあてを持って、自ら進んで授業に取り組んでいると言っている。	15 33	59 58	21 8	5 1
3	お子さんは、授業や家庭で、タブレット等の ICT 機器を活用して意欲的に学習に取り組んでいるようだ。	19 29	52 59	24 11	5 1
4	お子さんは、学校で学習したことを家庭で話をしたり、説明したりすることがある。	18 23	49 57	26 18	7 2
5	お子さんは、楯中 Life を活用して、家庭学習に計画的に取り組んでいる。	7 23	43 51	40 20	10 6
6	先生は、授業で間違えたところや、理解していないところについて、丁寧に教えてくれると言っている。	15 60	62 38	20 1	3 1
7	先生は、あなたが努力したことや良いところを認め、正しく評価してくれると言っている。	22 51	71 47	6 1	1 1

### <今年度の取り組みや評価について>

#### ◇今年度の主な取り組み

##### 1 諸検査、調査結果を活用した授業改善

- ・年度始めに実施した NRT や全国学力学習状況調査、実力テスト等の結果を分析し、指導改善に活かしています。

##### 2 学びの動機づけと振り返りを大切にした授業づくり

- (1) 年度始めの各教科の授業開きでは「そもそもその教科をなぜ学ぶのか」について生徒に考えさせました。そして、生徒間で意見を交流させ、教科の特性について深く考える機会を設定しました。また、教科担当の思いや考えを伝えるなどして、学ぶことへの動機づけを大切にしました。
- (2) 各教科の単元ごとに、「学びのプラン」(単元の学習計画)を配布し、生徒と共有しています。学びの道筋を示すことで、生徒が見通しを持って学習に取り組めるようにしています。

(3) 毎時間、または単元の終末で行う「学びの振り返り」では、振り返りのポイントを示し、生徒の学びが深まるようにしています。また、授業での学びが実際の生活や社会に関連づけて考えられることができるように授業の内容も工夫しています。

### 3 「楯中 Life」の活用による学びの振り返り

- より良い学習習慣を目指し、日々の学習や生活の様子を記録し、1日の学びを振り返ることができるようにしています。生徒が毎日提出することになっており、学級担任を中心に生徒の様子を把握し、励ましやアドバイスなどを行っています。

### 4 一人一台端末などを効果的に活用した家庭学習の充実と授業との連動

- 今年度から、個別学習アプリ「スタディサプリ」が導入されました。一人ひとりのペースで学習に取り組むことができる大変役立つコンテンツです。授業の中でも活用することで、その有効性を実感させ、家庭学習にもつなげたいと考えています。

### ◇生徒の実態やアンケート結果等より

- 「授業が楽しく、わかる、できる」と肯定的に回答した保護者が75%、生徒は90%という結果になっています。生徒については高い数値になっています。
- 「目標やめあてを持って、自ら進んで授業に取り組んでいる」と回答した保護者が74%、生徒が91%という結果で、特に生徒については高い数値を示しています。
- 「タブレット等 ICT 機器の活用」については、意欲的に活用していると回答した保護者が71%、生徒は81%という結果で、他の質問結果と比較すると若干低い数値になっています。
- 「学校で学習したことを家庭で話をしたり、説明したりすることがある」と肯定的に回答した保護者が67%、生徒は88%という結果で、保護者と生徒の間に20%ほどの差があります。
- 「楯中 Life を活用している」と肯定的に回答した保護者が50%、生徒は74%という結果で、他の質問結果と比較すると低い数値になっています。
- 「先生は、丁寧に教えてくれる」と肯定的に回答した保護者が77%、生徒は98%という結果で、生徒については非常に高い数値になっています。
- 「先生は、あなたが努力したことや良いところを認め、正しく評価してくれている」と肯定的に回答した保護者が93%、生徒は98%という結果で、保護者、生徒ともに非常に高い数値になっています。



## ＜今後の方針や具体策について＞

- ・「授業が楽しく、わかる、できる」と肯定的に回答した生徒が90%という高い数値になっており、学校としては、大変励みになる結果です。ただし、保護者で25%、生徒で10%があてはまらないと回答していることを真摯に受けとめ、各種テストでも各自の目標を達成できるように努めていきます。
- ・「目標やめあてをもって、自ら進んで授業に取り組む」ことができるように、「学びのプラン」等を示しながら取り組んできました。今後も、「学びのプラン」を更新しながら、生徒目線で、手応えある学習課題の提示などを研究していきます。
- ・ICT 機器の活用については、生徒の活用スキルも上達し授業でも有効に活用できています。来年度から新しい端末が支給され、動作性も向上するようです。各教科のねらいを達成するためのツールとして、活用方法について更に研修していきます。
- ・「学校で学習したことを家庭で話をしたり、説明したりすることがある」と回答した保護者は67%で他の質問結果より低い数値になっています。学校での学んだことが、興味深かったり、実生活に深く関わったりすれば、その学習内容を、家庭でも話題にするととらえています。学校での学びがもっと話題になるよう、魅力的な学習材を提供していきます。
- ・「楯中 Life」の活用については課題が残る結果になりました。より有効な活用方法を具体的に示しつつ、活用したことで自分自身の成長が実感できるような指導をしていきます。
- ・「先生は、丁寧に教えてくれる」と回答した生徒が98%という高い評価になり、大きな励みになりました。「どの学校よりも生徒たちを大事にする学校づくり」は、私たち教職員の「心意気」です。生徒との信頼関係の第一歩は、生徒に「寄り添う」ことだと考えています。信頼関係の更なる強化のために、生徒の声に真摯に耳を傾け、より良い方向に導けるように取り組んでいきたいと思います。
- ・「先生は、あなたが努力したことや良いところを認め、正しく評価してくれている」についても高い評価をしていただきました。今後も、生徒一人ひとりの日々の様子に目を配り、生徒の頑張りを見る目を養うとともに、教職員間でも生徒の情報を共有していきたいと思います。



## 【 響 く 】「心が響きあう学校」… 自治力

A:とてもあてはまる    B:あてはまる    C:あてはまらない    D:まったくあてはまらない

数字上段：保護者（％） 下段：生徒（％）

NO	質 問 内 容	A	B	C	D
8	お子さんは、場に応じた挨拶を進んで行っている。	30	62	7	1
		51	46	3	0
9	お子さんは、ボランティア活動に興味があり、参加している。	10	36	43	11
		27	41	26	6
10	お子さんは、家庭での手伝いや学校での係活動等に取り組んでいるようだ。	21	54	23	2
		53	43	3	1
11	お子さんは、家庭内や地域内の方々へ思いやりをもって行動しているようだ。	23	68	7	2
		56	41	2	1
12	お子さんの学級は、一人ひとりの良さが認められ、居心地が良い学級だと言っている。	22	66	10	2
		45	47	7	1



## <今年度の取り組みや評価について>

### ◇今年度の主な取り組み

#### 1 体験的な活動を核にした生徒会活動の活性化

- ・生徒会常任委員会と各専門員会、学級との連携を密にし、多くの生徒が生徒会活動に積極的に参加できるようにしています。

#### 2 生徒会活動、学校行事等、生徒の主体的な活動推進による集団づくり

- ・運動会や文化祭では、実行委員を募り、実行員会を組織しました。そうした生徒の意欲を大切にしながら企画・運営を行い、達成感ある活動を行っています。



#### 3 「Unity タイム」を活用したコミュニケーションスキルの向上

- ・人と関わる力を向上させるために、コミュニケーションスキルを高める活動として「Unity タイム」を設定しています。全校 Unity タイム、学年 Unity タイムを定期的の実施し、学級をこえた、より豊かな関りができるようにしています。



#### 4 地域行事、地域ボランティア活動への積極的な参加による「心づくり」の推進

- ・生徒会企画のボランティアや地域から依頼のあるボランティアなど、幅広く参加できるようにしています。普段の学校生活で触れ合うことのない世代の人や地域の良さを知るなど、「豊かな心づくり」に努めています。



### ◇生徒の実態やアンケート結果より

- ・「場に応じた挨拶を進んで行っている」と肯定的に回答した保護者が92%、生徒は97%という結果で、保護者、生徒ともに高い数値になっています。
- ・「ボランティア活動に興味があり、参加している」と肯定的に回答した保護者が46%、生徒は68%、という結果で、他の質問項目と比較すると低い数値になっています。
- ・「家庭での手伝いや学校での係活動等に取り組んでいる」と肯定的に回答した保護者が75%、生徒は96%という結果で、生徒については、特に高い数値になっています。
- ・「家庭内や地域内の方々に思いやりをもって行動している」と肯定的に回答した保護者が91%、生徒が97%という結果で、高い数値になっています。
- ・「所属する学級は、一人ひとりの良さが認められ、居心地が良い学級だ」と肯定的に回答した保護者が88%、生徒は92%という結果で、高い数値になっています。

### <今後の方針や具体策について>

- ・場に応じた挨拶に関しては、良好な結果になりました。学校生活の中でも元気な挨拶が交わされている場面が見られます。今後更に、相手を意識した「明るく爽やかな挨拶」など、より良い挨拶を考えさせ、実践できるようにしていきたいと思います。
- ・ボランティア活動への参加状況などについては、生徒と保護者の間で差があるようです。今年度は、生徒会の企画で地域ボランティア等を推進してきました。3年生を中心に積極的な参加が見られます。そうした参加状況や活動の様子が保護者の皆様に伝わっていないこともあるようです。今後は、学年だよりやホームページ等でより積極的に発信していきます。
- ・家庭での手伝いや学校での生徒会や係活動への取り組みも良好です。任せられた仕事をしっかりこなすことが集団への大きな貢献につながります。役割を果たす中で、所属意識や新たな気づきがあると思います。今後も一人ひとりが支える集団、存在感や有用感を実感できるような取り組みをしていきます。
- ・家庭や地域では「思いやりある行動」を実践しているという結果になりました。今後も「Unity タイム」などの活動を通して、周囲の人とのより良い関り方を考えさせ、実践を通して、より良い生き方や善を志向する「道徳的心情」を育む教育活動を推進していきます。
- ・「居心地の良い学級」と感じている生徒が多いのは、大きな成果だと思います。学級担任を中心とした学級経営に一定の評価を得たことにはなりますが、「あてはまらない」と回答している生徒もいるのも事実です。今後は、生徒と一緒に、より良い学級を目指して、それに近づけるような取り組みを行っていきます。



## 【 琢 く 】「活力に満ちた学校」… 挑戦力

A:とてもあてはまる B:あてはまる C:あてはまらない D:まったくあてはまらない

数字上段：保護者（％） 下段：生徒（％）

NO	質 問 内 容	A	B	C	D
13	お子さんは、希望や期待感を持って登校しているようだ。（学校に行くことには意義があると感じている。）	19 33	63 54	13 9	5 4
14	お子さんは、友達関係などに満足しているようだ。	33 50	55 47	9 2	3 1
15	お子さんは、パワーアッププロジェクト（早寝、早起き、朝ごはん、メディアコントロール）を意識して生活している。	4 24	41 56	42 17	13 3
16	お子さんは、家庭での来客や地域の方々に対してきちんとあいさつができています。	22 36	74 54	4 9	0 1
17	お子さんは、「先生は、日頃から声をかけてくれたり、相談にのってくれたりしている」と言っている。	20 48	70 49	9 2	1 1

### <今年度の取り組みや評価について>

#### ◇今年度の主な取り組み

##### 1 各種アンケートの定期的な実施

- ・生徒が心身ともに健康で安心・安全な学校生活を送ることができるように、毎月の「心のアンケート」や年2回の「生徒の心理調査」を実施しています。それぞれの結果を分析するとともに情報を共有し、生徒理解に努めています。

##### 2 「パワーアッププロジェクト」による生活習慣改善と心身の健康づくり

- ・生徒の自己管理能力の向上を目指し、パワーアッププロジェクト（早寝、早起き、朝ごはん、メディアコントロール）を充実させ、心身の健康保持増進を目指す取り組みを行っています。



##### 3 スクールカウンセラーと連携した教育相談の充実

- ・学級担任と定期的に実施する「教育相談」を中心に、生徒との対話を大切にしています。また、スクールカウンセラーと連携を図りながら、生徒を多面的に理解し、教育相談の充実を図っています。

### ◇生徒の実態やアンケートの結果より

- ・「希望や期待感を持って登校している」と回答した保護者が８２％、生徒が８７％という結果になっています。
- ・「友達などに満足している」と回答した保護者が８８％、生徒が９７％という結果で、生徒においては、特に高い数値になっています。
- ・「パワーアッププロジェクトを意識して生活している」と回答した保護者が４５％、生徒が８０％という結果で、保護者においては生徒に比べ低い数値になっています。
- ・「家庭での来客や地域の方々に対してきちんとあいさつができています」と回答した保護者が９６％、生徒は９０％という結果で、生徒より保護者の方が高い数値になっています。
- ・「先生は、日頃から声をかけてくれたり、相談にのってくれたりしている」と回答した保護者が９０％、生徒は９７％という結果で、高い数値になっています。

### <今後の方針や具体策について>

- ・登校への期待感が高い結果となっており、今後も生徒自身が手応えや達成感を実感できるような教育活動を展開し、更に数値が上昇するように取り組んでいきたいと思いをします。
- ・「友達関係」の充実は、学校生活の満足度に大きく関係するものです。今後も、相手意識を大切にしたい接し方や話し方などを、学級活動や道徳などを中心に、生徒に考えさせ、実践力を高めていきたいと思いをします。
- ・「パワーアッププロジェクト」の取り組みについては、まだまだ不十分なところがあります。心身の健康を保持するために大切な取り組みであることを、より実感できるように指導していききたいと思いをします。特にメディアとの関わり方については、学級活動等で生徒に考えさせるとともに、より良い関わり方を指導していきいます。
- ・「家庭での来客や地域のあいさつ」については、よくできているという結果になっています。しかし、地域で立哨をしてくださっているの方々からは時折「挨拶をもう少し頑張ってもらいたい」という声も聞かれます。「なぜあいさつを交わすのか」やあいさつされる心地よさについて、実感できるように具体的場面で指導していきいます。
- ・「先生は、日頃から声をかけてくれたり相談にのってくれたりしている」と回答した保護者も生徒も９０％を超えており、学校としても励みになる結果です。今後も生徒の表情や言動を観る目を大切に、コミュニケーションをとりながら生徒理解に努めていきいます。また、生徒が相談しやすい雰囲気づくりに力を入れていきいます。